


にこ通

家系図シリーズ①

令和3年5月

vol.108

勝裕 彰 

スマホで
読み取って
どうぞ!

次の代に残せるものは...

僕は高校時代、歴史の授業が苦手だった。理由は明白。年号の丸暗記。試験で点数を取るための勉強しかしていながら、たから、~~XX~~ なぜ戦争をしなければならなかったのか？ 当時の人達はどんな気持ちで暮らしていたのか？ とは風にも、当時の人達の「心」にまで思いを巡らせて勉強することはなかった。

あから30年、自分でもビックリだが歴史を学んでいる僕がいる。その訳は家系図を作る過程で沸いてきた「なぜ祖母のあやさんは朝鮮で生まれたのか？」という素朴な疑問。歴史を紐解くことで何か分かるんじゃないかと思ったから。

調べてみて分かったこと。日清戦争(1894年)、日露戦争(1904年)、あやさんが朝鮮で生まれたのは、1902年。朝鮮が主戦場のひとつとなった混乱の世の真只中だ。開国以後、欧米から攻めこまれることを恐れた日本は、力をつけると同時に、日本へ攻めこまれる拠点となる朝鮮をおさえようとする。となると、兵隊さんだけでなく、農業や商売などで生活の基盤を朝鮮に移す日本人が出てくるのも自然な流れだったのが。あやさんの両親もその流れの中で朝鮮にいたのがと推察できた。

食べるものもない。明日戦争に巻きこまれて死ぬかもしれない。そんな状況を当時の人達はどんな思いで生きていたんだろう... 想像でしかないけれど、子どもの代、子孫の代にはこんな苦しい思いはさせたくない。安心して暮らせる世の中を、ってその一心だったんじゃないかと思う。

今、僕たちが豊かな暮らしができてるのは、おじいちゃんやおばあちゃん、ひいおじいちゃんやひいおばあちゃんが命がけて毎日を生き抜いてきてくれたおかげ。と考えるとしたら、僕たちにできることは何だろう？ 次の世代に「より美しい日本」を残せるよう、今から自分にできることをしていこうと思う。

- 働きでまわりの人を笑顔にすること
- ごみを見つけたら拾うこと
- 身近な人に「ありがとう」を言うこと
- 明るい挨拶をすること
- 人のせいにしないこと
- いつも笑顔で過ごすこと

家系図シリーズ②

物質的には豊かで便利すぎるぐらいな今の日本。

令和の時代は「心」の豊かさを育んでいきたいぞ

98号、106号、そして今回の号と、勝裕家の家計図を作ったこと、母方のおばあちゃんのこと、そこから感じたことを書きました。次号では、祖母と母をつなぐ旅に出たことを書きます。
家系図シリーズ残り2回(予定) お集みに♡